

インナーブランディングのための社員の意識・行動を改革するプログラム
「BIOS (バイオス)」(Brand Input/Output System)
- 本格的に営業活動をスタート -

博報堂はこのほど、企業のブランディング活動の際に、全社員に対してブランドビジョンの浸透・共有化を図り、ブランドに基づいた主体的な社員の意識・行動の改革を導くインナーブランディングプログラム「BIOS (バイオス)」(Brand Input/Output System)を開発・実用化し、本格的に営業活動を展開することになりました。

昨今、多くの企業において、ブランド戦略は、経営戦略や事業戦略と並ぶ企業活動の柱として最重要課題に挙げられております。一方、「ブランドの価値は規定したけれど社内にどう浸透させたらよいか分からない」「ブランドのビジョンに基づいた活動が社内で推進されない」というように、その送り手となる「インナー＝社員」が育たない、動かない、といった企業内部の問題がブランディングにとって大きな課題となることが明らかになってきました。

ブランドが企業の“血”となり“肉”となるためには社員一人ひとりが主体的にブランドを捉えることのできる仕組みが必要不可欠です。この度、博報堂が開発したインナーブランディングプログラム「BIOS (バイオス)」では、社員自身がブランディングを自発的に進めていけるような仕組みづくりを目指しています。そのための新しい手法として、当該企業内にて「ブランドリーダー」となる社員を、「ファシリテーター」として相応の人数養成するというプログラムを開発しました。そして、彼らを通じて継続的なブランディングを行うための仕組みを提供します。

プログラムでは、まず社内の各現場におけるリーダー的存在を「ブランドリーダー」として選定し、ワークショップを取り仕切る「ファシリテーター」として育成します。ファシリテートスキルを身につけた「ブランドリーダー」達は、「ワークショップ型の社内ブランドスクール」をそれぞれの現場で開催し、個々の立場に応じた社内活動を具体的に展開していくこととなります。このワークショップにおいては、社員一人ひとりが議論に参加することで、ビジョンに対して「納得」「賛同」という態度が生まれ、社員の自発的なアクションを導きます。また、PDCAサイクルによる評価体系を整備したプログラムを用いることで、「評価 プランニング」という継続的なブランド育成が可能となります。

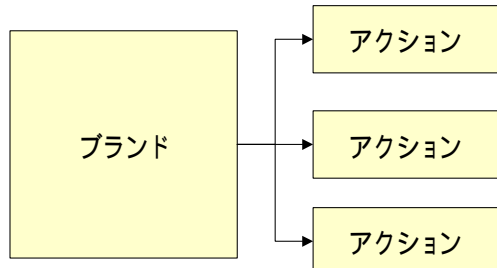
本プログラムの運営は、博報堂の社内チーム「博報堂ブランドデザインチーム」が、ファシリテーター養成を得意とする人材・組織コンサルティング会社「ピープルフォーカス・コンサルティング」の協力を受けて行います。

「BIOS (バイオス)」プログラム概要

「BIOS (バイオス)」の特徴

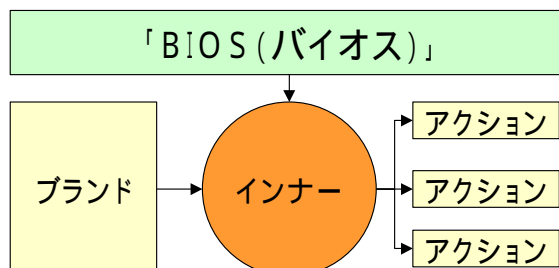
(これまでのブランディング)

アクションになかなか落ちていかない...

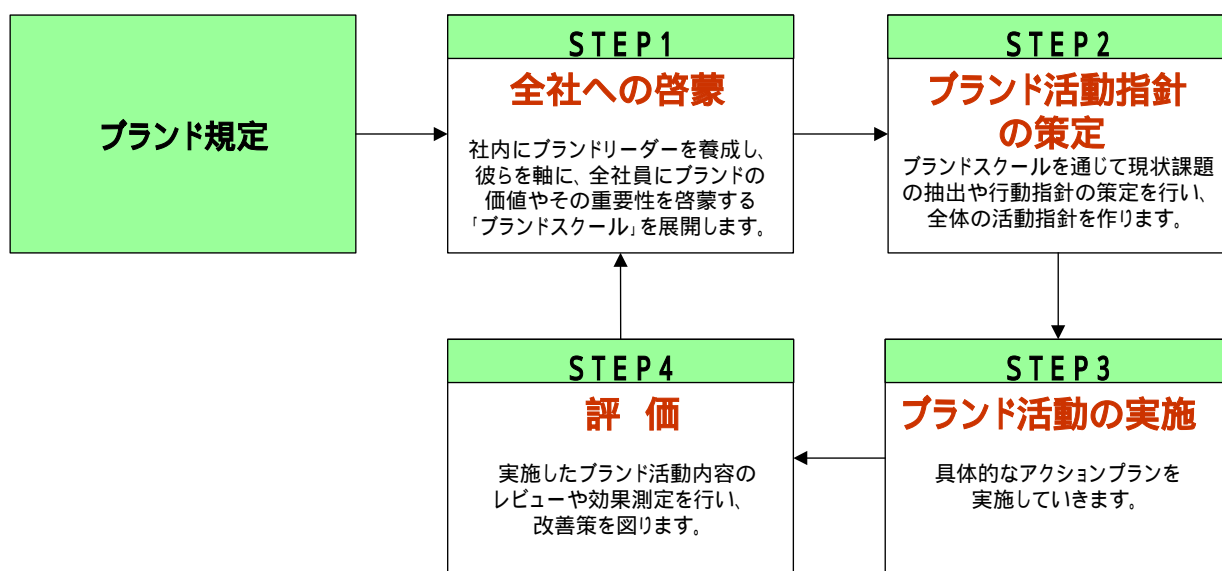


(これからのブランディング)

主体的にアクションが生まれる仕組み



プログラムの流れ



プログラム実施メニュー

- | | |
|----------------|--|
| < ブランドの評価 > | ブランドのインナー浸透度の測定 |
| < プログラム作成 > | 「BIOS (バイオス)」プログラムの企画・立案 |
| < ツール制作 > | プログラムサポートツール (ブランドブック、ファシリテーターズマニュアル等) の制作 |
| < ファシリテーター研修 > | ブランドリーダー育成研修の実施 |
| < プログラム運営管理 > | プログラム運営、または運営サポート |
| < 活動テーマ策定 > | 全体のアクション指針策定 |

プログラム開発・運営

<博報堂ブランドデザインチーム>

ブランドの価値規定からアウトプットの創出まで、一貫したブランディング活動創出をサポートする専門チーム。戦略立案からクリエイティブまで、ブランド構築に必要なあらゆるソリューションをワンストップ・サービスで提供します。

<ピープルフォーカス・コンサルティング>

1994年に設立された、組織開発を目的とした人材育成プログラムを提供するコンサルティング会社。スキル研修から組織コンサルティングまで、人と集団にフォーカスを当てた様々なサービスを提供するほか、ファシリテーターのためのサポート団体である「ファシリテーターズ・クラブ」の運営も行っています。

本件に関するお問い合わせ

博報堂

広報室
ブランドデザインチーム

宮川、泉谷
兔洞、宮澤

Tel : 03-5446-6161

Tel : 03-5446-8646